

TOKYO ミナトリエ -東京臨海部広報展示室-

2024.9.18 池田良穂

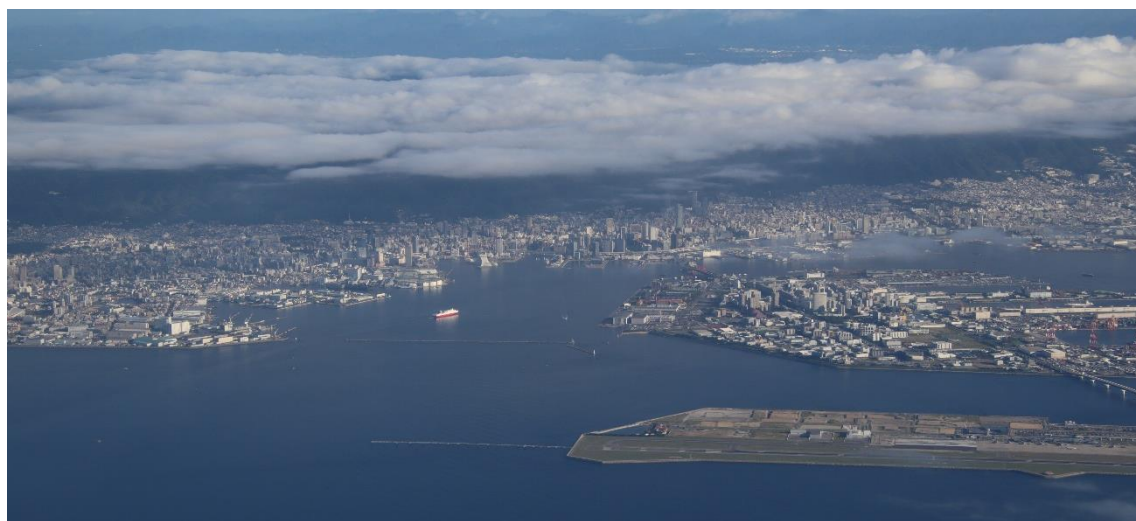
今週、東京の有明にある広域防災拠点施設で開催された内閣官房の病院船に関するワークショップに参加しました。民間フェリーを活用して災害時の医療を行うというプロジェクトの図上訓練を行うというイベントでした。内閣府をはじめとして各省庁、地方公共団体、民間フェリー会社、DMATや赤十字等の医療関係者が多数参加していて、充実したイベントとなりました。想定は、北海道で大規模地震・津波が起こったというもの。船舶関係の有識者として参加しましたが、なかなか勉強になりました。10月には室蘭港に停泊する津軽海峡フェリーの船上での訓練も行われます。

今年1月の能登大震災時には、「ナッチャン WORLD」と「はくおう」の2隻の大型フェリーが七尾港で被災者の支援にあたりましたが、被災地に近い輪島港と飯田港には日本財団がチャーターした小型カーフェリー「フェリー栗国」が入港して救援物資を届けています。

南海トラフの地震の可能性も大きいので、フェリーを活用した救援物資輸送、医療活動、医療関係者・救援人員・病人の搬送等がますます重要になってきています。

年度末には本プロジェクトの報告書も発行されると思いますので、またご紹介します。

さて、いつもの通り日帰りで行き、会場までのゆりかもめの車上からMSC ベリッシマの姿を眺め、またテレコムセンター駅横の青海フロンティアビル20階にあるTOKYO ミナトリエで、展示品と東京港の眺望を楽しむことができました。



関西空港を飛び立った東京行の飛行機は、大阪湾上を旋回しながら高度をあげていきます。神戸港上空では入港中の宮崎カーフェリーの「フェリーたかちほ」の姿が遠望できました。



東京国際クルーズターミナルには「MSC ベリッシマ」が着岸していました。保存船「宗谷」と一緒にファインダーに収まりました。隣の「船の科学館」は解体工事が始まっているようでした。筆者は、11 月に、同船のジャパネット主催の日本一周クルーズに、このターミナルから乗船の予定です。

東京臨海部広報展示室

Exhibition Room of the Tokyo Waterfront Area

この施設では、国際貿易港として首都東京のみならず東日本の経済や生活を支える東京港、並びに多くの人々が働き、暮らし、更に国内外から訪れる臨海副都心などの歴史や現在の姿、そして未来をご紹介します。

当施設が皆様に利用され、東京港や東京臨海部に対するご理解を深める一助となれば幸いです。

地上 100m からの眺望

臨海副都心の夜景

眼下に広がる東京港

アクセスマップ

ご利用案内

- 所在地
東京都江東区青海 2-4-24
青海フロンティアビル 20 階
- 開室日
火～木・日曜日 10:00～18:00
金・土・祝前日 10:00～21:00
※最終入室は閉室時間の 30 分前まで
- 休室日
月曜日
年末年始 12 月 28 日～1 月 4 日
- 交 通
ゆりかもめ
「テレコムセンター駅」徒歩 1 分
りんかい線
「東京テレポート駅」徒歩 15 分
※入室無料

お問合せ
東京臨海部広報展示室 TOKYOミナトリエ
電話 03-5500-2587
FAX 03-5500-2589

リサイクル資源 (A)
2023.12

TOKYO ミナトリエ minatorie

東京臨海部広報展示室

TOKYO ミナトリエは、東京都港湾局によって運営されていて、無料で見ることができます。



TOKYO ミナトリエの館内案内図です。



TOKYO ミナトリエから「MSC ベリッシマ」を望みました。ガラスの反射があって、あまりよい写真にはなりませんでした。



眼下に青海のコンテナターミナルが望めました。



RORO 船埠頭に停泊する琉球海運の RORO 貨物船「わかなつ」です。